

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	保健福祉部健康増進課		■担当係	成人保健係
■評価事業名称	がん対策基金活用事業			
■事業開始年度	平成17年度			
■評価事業コード	040200 - 076	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	01 子育てと医療・福祉の充実した明るく健やかなまちづくり		
	■基本施策	03 健康づくりの推進と地域医療の充実		
	■施策	03 市民の健康づくりの推進		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称	がん対策基本法			
■関連計画の名称	第2次北上市健康づくりプラン			
■事業の目的と概要	がんの予防及び末期医療の対策のため。がん患者の生活の質を高める。(1)介護用品の購入又は借り入れに対する助成、相談窓口の設置、ボランティア派遣、市民講演会の開催(2)乳房補正具、頭髪補正具購入に対する助成(3)がん患者の会、がん家族の会等の市民活動に対する助成(4)がん検診初年度受診対象者に対する検診料助成			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成28年度事業計画	平成28年度事業量実績
01	がん対策基金活用事業	北上市に住所を有するがん患者	<ul style="list-style-type: none"> ・介護用品購入及び借用補助 ・ボランティア派遣 ・相談窓口の設置 ・乳房補正具及び頭髪補正具購入費と医師の証明書への補助 ・市民活動への助成 ・緩和ケアハンドブックの作成 ・がん検診初年度対象者への検診無料化 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護用品購入及び借用補助3人(2か月×1人、3か月×1人) ・相談件数 ・ボランティア登録 37人 派遣2人(2回×1人、1回×1人) ・補正具購入費補助 35人(乳房4人、頭髪31人) ・相談件数 25件・市民活動に対する補助 2団体 ・ハンドブック 500部印刷 ・がん検診初年度受診料免除 460人

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	備考
直接事業費	2,085	1,608	1,689	1,408	
人件費	2,519	3,136	3,053	7,133	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	4,604	4,744	4,742	8,541	

4. 評価指標等の状況

事務事業事後評価シート[平成28年度事業]

指標コード	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	指標の説明
01	補正具購入時の補助を受けた人数	乳房9人 頭髪32人	乳房11人 頭髪26人	乳房7人 頭髪21人	乳房4人 頭髪31人	H22から乳房・頭髪補正具補助の目標人数を合わせた目標値(21までは乳房補正具補助)
02	介護用品購入又は借入に対する助成を受けた人数	1人	1人	1人	3人	(21までは頭髪補正具補助)
03	各種がん検診の初年度受診者数の合計	696人	707人	895人	460人	各種がん検診初年度受診者無料化は平成22年度から実施
04	乳房及び頭髪補正具購入への補助費	1,124千円	869千円	746千円	960千円	乳房及び頭髪補正具購入への補助費
05	介護用品購入等への補助費	2,700円	18千円	14千円	47千円	介護用品の購入等への補助費
06	各種がん検診初年度検診料への補助費	1,993千円	1,506千円	3,618千円	2,031千円	平成22年度から実施。平成27年度から、乳がん検診は国のクーポン事業を中止しがん対策基金活用事業のみの活用

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■ 目標達成状況

A. 順調

B. 概ね順調

C. 遅れている

達成状況の分析

事業計画に沿い、概ね滞りなく実施できた。事業周知についても新たな周知先(理美容組合)へ説明・周知ができた。社会情勢の変化に伴い、条例・要綱一部改正に取り組み、対象者が利用しやすいよう整備に努めた。

問題点・課題等

条例・要綱一部改正後の事業周知が不足している。

1. 直接的な受益者の範囲

不特定多数に及ぶ

特定されるが多数に及ぶ

特定少数に限定される

2. 事業廃止の影響

大きな不利益やリスクが生じる

ある程度の不利益やリスクが生じる

不利益やリスクは小さい

3. 国・県・民間との競合関係の有無

類似の事業はない

類似の事業はあるが競合はない

類似の事業があり競合する

4. 事業へのニーズの変化

ニーズが高まっている

ニーズは変わらない

ニーズが低下している又は合致しない

5. 施策の改善需要度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

6. 施策の優先度(市民意識調査)

順位が高い

順位が中程度

順位が低い

7. 他市町村に比較しての優位性

先進的またはユニークな事業である

他と同程度の事業である

遅れている事業である

8. 実施主体の代替性

民間委託等の拡充は難しい

民間委託等の拡充が十分に可能

全部委託や実施主体の移行が可能

9. 経済性・効率性の向上

今以上の効率化や改善は難しい

効率化や改善を図ることは十分に可能

効率化や改善の余地が大きい

■ 事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

平成29年度より要綱改正に伴い事業の周知を行い評価をしていく

■ 今後の方向性

I. 拡充

II. 継続

III. 縮小

IV. 廃止・休止

V. 完了